

山口百恵  
三浦友和

泉じゅん  
山本ゆかり  
石田信之  
北詰友樹

小林昭二  
浜村純  
常田富士男  
三条美紀

宝生あや子  
加藤武

沖雅也  
實川延若

岸恵子  
(特別出演)



# 百恵・ライナレシ 古都

市川崑監督作品  
川端康成原作 （新潮文庫版）



製作・堀 威文・笹井英男  
脚本・日高真也・市川崑  
製作・株式会社ホリ企画制作  
衣裳協力・三三三  
配給・東宝株式会社



あなたの幸せ祈ります。  
祇園まつりの宵山に  
会って別れた花三輪  
美しく哀しい姉妹の物語

娘ごころより女ごころがいい。

192123-202

東京音協12月例会  
¥1050 (一般1500円のところ)  
音協会員に限り

12月6日公開  
有楽座  
12月20日一般公開

千代田劇場	江東劇場	新宿東宝ビレッジ	蒲田プラザ
渋谷宝塚	浅草東宝	地球座 改め池袋東宝	八王子東宝
上野東宝	新宿コマ東宝	吉祥寺アカデミー	立川名画座



◆昭和49年12月に川端康成原作の「伊豆の踊子」でスクリーン・デビューした山口百恵は、一作ごとに女優としてめざましい成長をとげ、その成熟を6年後、同じ川端康成原作「古都」で見事に結実させることになった。

川端文学独得の妖しげな美しさを基調に、離ればなれに生きる運命をせおった美しい双子の姉妹の出会い、互いの孤独と愛、娘ごころの哀歓、さらに親と子の断ち切りがたい絆を名匠・市川崑が華麗に浮き彫りにする。

京都の四季を背景に、山口百恵の美しさ・魅力のすべてを映像化する「古都」は、百恵スクリーン・ファイナーレにふさわしい作品といえる。

## ものがたり

佐田千重子は京呉服問屋の一人娘として何不自由なく、美しく育った。千重子が父母から実子でないことを知らされたのは中学生のときである。祇園の夜桜の下に寝かされていた赤ん坊があまりに可愛いので、悪いと知りながら盗んでしまったと父母は言うが、千重子は信じていない。店のべんがら格子の下に捨てられた捨子だと思っている。しかし千重子と父母の間は、実の親子以上に深い愛で結ばれていた。

千重子が幼馴染みの真一にだけ自分の身の上を打ち明けたのは真一に好意を持っていたからだ、あまりにも好青年の真一に千重子は何かもものたりないものを感じさびしかった。

# 百恵・ファイナーレ 古都

山口百恵フィルムグラフィイー

封切	作品	監督
昭和49・12	『伊豆の踊子』	西河克己
昭和50・4	『潮騒』	西河克己
昭和50・8	『花の高2トリオ初恋時代』	森永健次郎
昭和50・12	『絶唱』	西河克己
昭和51・4	『エデンの海』	西河克己
昭和51・7	『風立ちぬ』	若杉光夫
昭和51・12	『春琴抄』	西河克己
昭和52・7	『泥だらけの純情』	富本壮吉
昭和52・12	『霧の旗』	西河克己
昭和53・7	『ふりむけば愛』	大林宣彦
昭和53・12	『炎の舞』	河崎義祐
昭和54・8	『ホワイト・ラブ』	小谷承靖
昭和54・12	『天使を誘惑』	藤田敏八

千重子の父・佐田太吉郎は問屋の主人でありながら名人気質で、染織の下絵などを描くがその呉服物や帯は地味で返品が多かった。ただ千重子だけは父の作った着物が好きだった。

ある日、清滝川沿いの北山杉の村を訪ねた千重子は、自分とそっくりの娘を見かけ驚く。

祇園祭に賑わう青山の夜、「御旅所」にお詣りに行った千重子は、そこで七度詣りをしている瓜二つの娘と再び出会う。娘は千重子の手を握った。

「……あなた、姉さんや。神様のお引き合わせです」

千重子と苗子は双子の姉妹だった。二人の父は北山杉の職人で生活苦のため千重子を捨てたが、間もなく杉から落ちて死に、母もあとを追うように病死した。孤児になった苗子は北山杉の持主の家に世話になり、現在もそこで働いている。苗子には互いに思いを寄せあっている清作という恋人がいる。せっかくなかええ姉妹であったが、苗子は環境の違う姉の幸福を気づかずに雑踏の中に姿をかくす。

八月の末、北山杉の苗子をたずねた千重子は、夕立の中で苗子と抱擁し姉妹の実感に感動する。

太吉郎の店の経営が思わしくないことから、真一の兄の竜助は千重子に助言する。そして次第に千重子にひかれていく自分を感じ、決心して求婚する。



冬が来て粉雪が舞う夜、今度は苗子が千重子の家を訪ねた。太吉郎としては初めて見る苗子のそっくりぶりに目を見張る。千重子の部屋で姉妹はしみじみと語り合う。

「苗子さん、結婚のことをお考えやした……。千重子は結婚します」

夜明け前に帰る苗子を千重子は見送る。

「千重子さん、一生のしあわせやつたと忘れまへん」

「さいなら。また、来とくれやすな」

その言葉に黙って首を横に振った苗子は雪化粧の町を去ってゆくのだった。

### スタッフ

製作……堀 威夫  
原 作……菅井 英男  
脚 本……川端 康成  
原 作……日高 真也  
監 督……市川 崑  
製作 補……金沢 博  
撮 影……長谷川 清  
美術 術……坂口 岳玄  
録 音……大橋 鉄矢  
照 明……加藤 松作  
編 集……長田千鶴子  
音 楽……田辺 信一  
衣裳 美術……朝倉 攝  
スチール……橋山 直己  
助 監 督……川崎 善広  
製作 担当者……岩上 昭彦

### キャスト

千重子……………山口百恵  
苗子(二役)……………川 延  
太吉郎(千重子の父)……………実 子  
しげ(千重子の母)……………三 浦  
清作(樵夫)……………北 詰  
真一(大学生)……………沖 雅  
竜助(その兄)……………右 田  
秀男(織屋)……………石 信  
水木弥平(真一の父)……………加 藤  
大友宗蔵(秀男の父)……………濱 村  
遠藤(北山杉の主人)……………小 林  
剣持(番頭)……………常 田  
正子(千重子の友人)……………泉 昭  
お茶屋のおかみ……………あ じ  
芸 者……………山 本  
遠藤の奥さん……………三 條  
村 の 娘……………富 沢  
……………美 古

